

萩市立明倫小学校 校長室だより

学校教育目標： 人としての生き方を学び、共に高まり合う子どもの育成

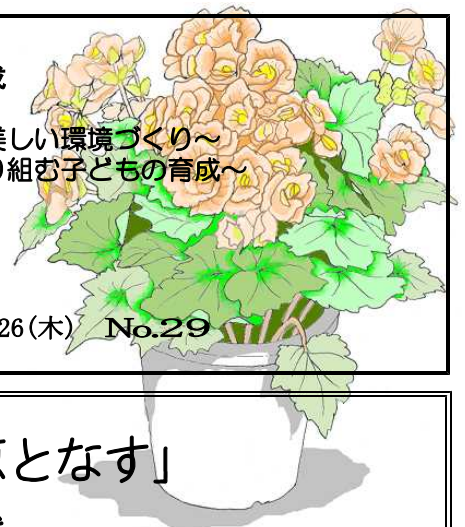
チャレンジ目標： ～明倫小A：気持ちのよい7mあいさつ～

～明倫小B：友だちを思いやる美しい心と校舎内外の美しい環境づくり～

～明倫小C：目標や志をもち、達成に向けて進んで取り組む子どもの育成～

伸びる力

2020, 3, 26(木) No.29



「志を立て もって 万事の源となす」

～ 4年生 1/2成人式 ～



19日は二十四節気の1つである「雨水」(うすい：今まで降った雪や氷が陽気のため、溶けて水分となり雨となって降るという意味)でした。2月も間もなく終わりを迎えます。

さて、18日(火)には、オープンスクールということで、授業参観や学級懇談会を行いました。この機会に4年生は、1/2成人式を保護者のみなさんに観ていただきました。今年は、前半部分を式典に変え、後半

部分を各学級で保護者との交流としました。

式典では、開式に続き、一人ひとりの呼名がありました。子どもたちは、大きな声で返事をし、起立していきました。その態度も立派でした。124名の呼名が終わり、私が次のような式辞を述べました。その後、朗唱と二部合唱「ふるさと」を全員で披露しました。これまでの成長に感謝の気持ちを込めて、全力で朗唱したり歌ったりしました。

後半は、各学級で保護者を前に将来の夢を述べたり、手紙の交換をしたりして親子での交流を深めました。四年生は、来年度は高学年になります。学校全体を動かす立場です。今日の思いを大切に、これからは自分だけでなく人のためになるように力を発揮してほしいと思います。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

式辞

梅の花がきれいに咲きほころぶ季節となりました。本日はお忙しい中、学校運営協議会会長大島 栄 様をはじめ、多くの方々にご臨席を賜りました。誠にありがとうございました。

萩明倫小学校の四年生のみなさん、二分の一成人式、おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

今、みなさんの堂々とした呼名を聞き、とても嬉しく思いました。また、態度もとても立派でした。それから、こうして私のお話を聞くとともに、しっかりと目と心で話を聞くことができていると思います。

さて、後10年で、法改正では後8年で、みなさんは社会的に責任を負う成人式を迎えます。二分の一成人式は、成人式を迎えるための今までの自分を振り返るよい機会です。これから自分の夢に向かうために今の自分はどの位置にいるのか、夢を目標に変え、実現するためのよい準備ができているか、これまで育ててくださった家族の方々に感謝しているかなど、しっかりと今の自分について考えてほしいと思います。松陰先生も『志を立て もって 万事の源となす』と言わ

れています。

夢や希望を叶えることは、楽なことではありません。みなさんの前にいろいろな苦勞や辛いことが多く立ちはだかることでしょう。しかし、みなさんには多くの可能性があります。みなさんの可能性は、未来への果敢なチャレンジであり、理想を追い、いかなる困難にも負けず、前進し続けることだと思います。苦しいことを乗り越えていく姿は自分を満足させるだけでなく、家族の方々をはじめ、周囲の人々をも感動させることを忘れないでください。応援して下さる人がいるということです。

努力したことは必ず報われるとは言えませんが、少なくとも成功している人は人よりも努力をしていることは確かなことです。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。健やかに成長されたお子様の姿を目の前にされ、お喜びもひとしおのことと思います。このように立派に成長されたお子様をこれからも、小学校ではしっかりと支援してまいります。

四年生のみなさんの輝かしい未来を祈りながら式辞といたします。

令和2年2月18日 萩市立明倫小学校 校長 岡野 富司雄

1/2成人式を終えて、子どもたちは次のような感想をもっていました。多くの子どもたちが式典で頑張ったことや家族に対する感謝の気持ちをもっていました。



ぼくは1/2成人式を終えて感じたことがあります。それは朗唱や合唱などの発表を大きい声で言えたと思います。最初の練習の頃は覚えていなかったり、みんなとずれてしまうかもしれないと不安だったけれど、先生がみんなに、「一人が声を出したら、みんなが絶対に後について声を出してくれるから大丈夫。」と言ってくださいました。だからぼくも大きい声で発表しようと思いました。また、家

族に手紙を渡す時間では、家族からも手紙をもらって読むと、ぼくのことをこんなに大事に思っていてくれたんだと思いました。

【松隈 創】

体育館の式典の時、返事や態度、声の大きさにすごく気を付けて1/2成人式をやりました。特に態度と声の大きさに気を付けました。態度はびくとも動かずにできました。声の大きさは響かせるようにしました。次に、家族への感謝の気持ちを表しました。ぼくが家族に思ったことは、「今まで育ててくれてありがとう、これからもよろしくお願いします。」ということです。そのことをお父さんやお母さんに伝えると、「これから准矢も頑張ってるね。」と言われました。だから、これからもぼくは頑張ろうと思いました。

【野田 准矢】

※ 学校経営・校長室だよりへの保護者・地域の皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。
年 組 児童氏名 ()

